

ほくぶ幼稚園 榎原 早野花

保育士を目指したきっかけは？

私が保育園に通っていたころ、廃材製作があったのですが、自由に製作するというのが苦手で、なかなか作れませんでした。友達は完成しているのに自分は作れなくて、一人で困っていたら先生が「これを作ったらどう？」って提案してくれました。時間もなくて、先生が作ったものをこっそりまねて作り、廃材製作の作品展に出しましたが、「みんなは自分で考えているのに、自分だけまねっこしていいのかな」と子どもながらにずっともやもやしていました。作品展当日、先生が自分の作品と先生の作品と一緒に並べてくれて、先生が自分のこと受け入れてくれた！と感じました。それから先生のことがもっと大好きになりました。その経験から先生みたいな保育士になりたいと憧れるようになりました。



仕事で大変なことは？

書類仕事が多いし、保育準備も大変です。いろいろと子どもたちに経験させたいけど、どうしたらよいかわからないことも多いので、先輩に相談をしたり、先輩の姿を見て技を学んだりしています。

教室の壁面飾りも、自分は平面の物しか作っていませんでしたが、先輩たちは立体的な物を作っていて、そのような飾りを作れるように、写真を撮って勉強しています。

大変なことも多いですが、先輩たちが気にかけてくれて、アドバイスもいただけます。

また、昨日できていなかったことが今日はできている！と、子どもたちの成長を間近で見ることができて、やりがいを感じます。



幼稚園では…

幼稚園は子どもたちに夏休みがあるので、その間に私たちは研修などに行って、保育について学べる時間が取れます。通常の日も、子どもたちが一斉に帰るので、その後の時間で保育の振り返りをしたり会議や研修をしたりしています。

男性保育士も活躍しています！！



現在、阿久比町には4人の男性保育士がいます。幼いころは、父親以外の男性と接する機会があまり子どもたちに対して、やさしい兄であり、父親に女性ばかりの職場ですが、男性がいることで、園僕たちの動き一つとっても、ダイナミックに子どもしたり、体を動かして遊ぶことが多いです。保護者の方から、「女性保育士には話づらいことと言われた時はうれしかったです。性別に関わらず、いろいろな保育士がいることで、

(令和2年度時点)。りないので、子どもたちにとってよい経験になればと思い接しています。代わるような存在でありたいです。中でも安心感を与えられるのではと思います。もたちの目に映り、体操をしたり、走ったり、スポーツをもあるので、男性保育士の方に悩みを相談できてよかった」子どもたちの成長にもプラスになると思います。

英比保育園 附柴 真実

どうして阿久比町を志望？

私の地元は名古屋で、周りに自然がとても少ない場所に住んでいました。実際に地元の保育園に実習に行ったときに園庭が小さく、遊ぶときは近くの公園に行くような感じでした。

幼いころ自然が少ない環境だったので、自然豊かな環境で子どもたちの保育をするのが夢でした。そんなときに、大学のゼミの先生に阿久比町を紹介していただき、調べていくうちに阿久比町に魅力を感じ志望しました。

働いてみてどう？

阿久比町で働いてみてからは、園庭も広いし、やっぱり自然に囲まれた中で保育をするすばらしさを感じています。子どもたちものびのび育っていると思います。

あと、地元から阿久比町に通うのは難しかったので、就職を機に、一人暮らしを始めました。

大変かなとも思いましたが、自分の好きな時間に行動ができるので毎日が充実しています。通常の勤務時間より早く勤務する早番が月に数回あるので、一人暮らしをしていなかったら逆に大変だったかなと思います。

学生時代にやっておいたほうがいいことは？

私が実際にやって仕事に生かしていると思うことは、保育園や障がい児施設のボランティアやアルバイトです。保育現場を見ることは座学では学べない貴重な経験でした。

他にやっておけばよかったと思うことは、座学の授業をきちんと受けることです。私は座学の授業が苦手だったので、学生時代にきちんと学んでおけば、就職してからすぐに子どもたちのけがや病気の対応ができたのかなと思いました。また、保育をしていると給食を待っている時間などちょっとした空き時間があるので、その時にできる手遊びなどをたくさん身に付けておくとよかったです。

